

製品名: リボソームタンパク質 S10 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe87782

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:200-1:500,FC 1:200-1:1000
分子量	Calculated MW:19 kDa; Observed MW:19 kDa

抗原情報

遺伝子名	Ribosomal protein S10
別名	S10; DBA9
遺伝子 ID	6204
SwissProt ID	P46783
免疫原	ヒトリボソームタンパク質 S10 の合成ペプチド

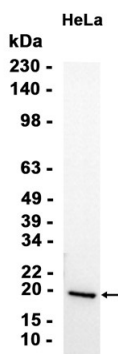
背景

タンパク質合成を触媒する細胞小器官であるリボソームは、小さな 40S サブユニットと大きな 60S サブユニットから構成されています。

す。これらのサブユニットは、4種類のRNAと約80種類の構造的に異なるタンパク質で構成されています。この遺伝子は、40Sサブユニットを構成するリボソームタンパク質をコードしています。このタンパク質は、リボソームタンパク質のS10Eファミリーに属し、細胞質に局在しています。大腸がんでは、この遺伝子の発現レベルが周囲の正常組織と比較して変動することが観察されていますが、発現レベルと疾患の重症度間に相関関係は認められていません。リボソームタンパク質をコードする遺伝子に典型的に見られるように、この遺伝子には複数の処理済み偽遺伝子がゲノム中に散在しています。選択的スプライシングにより、同じタンパク質をコードする複数の転写産物バリエーションが生成されます。この遺伝子座と隣接する遺伝子座NUDT3 (nudix (ヌクレオシドニリン酸結合部位X) 型モチーフ3)の間では、自然にリードスルー転写が起こる。[RefSeq提供、2011年2月]

研究分野

画像データ



リボソームタンパク質S10ウサギモノクローナル抗体を1:3000で使用したHeLa細胞抽出物のウェスタンブロット分析。